

新希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100-8051 (住所不要) 毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号(あればメールアドレスも)を明記してください。

東日本大震災

サポート情報

22日現在

労働・雇用

マイコミ、就職支援プラットフォームをネット上で配信。毎日コミュニケーションズ(マイコ)は、東日本大震災被災地の岩手・宮城・福島・茨城在住の2012年卒業予定学生向けに、企業の人事担当者によるセミナー「マイコミによる就職活動講座(面接対策)

被災者向け求人情報サイト「マイコミ」が、転職情報サイト「マイコミ」の運営のサポート「One Job for Japan」(http://onejob.jp)を開いた。全国の事業者が無料で求人情報を掲載でき、被災者は携帯電話で「マイコミ」(http://mycomi.jp)から対象の学生や協力大学に送られる。被災地の大学の協力で、教室内のプロジェクターを使用することで、パソコン環境が整っていない学生でもプログラムを受講しやすくなる。

28日18時19分、サイプレス・ソリュションズ、29日18時19分、NETS、30日18時19分、パンナグループ、7月11日18時19分、アラク。

フライバスターズ結成

被災者が求める物資や人的支援情報をお知らせします。必ず事前連絡をお願いします。

遠野まひるのネットワーク

(岩手県遠野市) ☎0198・62・1001
tonomakoro@gmail.com
http://tonomakoro.net

共同支援ネットワーク

(仙台市) koudounet@gmail.com
http://www.cic-japan.com/jishin.html

ふくふくプロジェクト

(福島県) ☎024・4300・4300
f-sc@bz201.pl
http://www.f-npo.jp/

被災者向け求人情報サイト「マイコミ」が、転職情報サイト「マイコミ」の運営のサポート「One Job for Japan」(http://onejob.jp)を開いた。全国の事業者が無料で求人情報を掲載でき、被災者は携帯電話で「マイコミ」(http://mycomi.jp)から対象の学生や協力大学に送られる。被災地の大学の協力で、教室内のプロジェクターを使用することで、パソコン環境が整っていない学生でもプログラムを受講しやすくなる。

ボランティア用のタオルケットを、夏が近づき、被災地でも暑苦しい夜が増えてきた。宮城県石巻市の避難所体育館の片隅で夏泊まりしているボランティアのたむけ、タオルケットを募集。

中古(新品も可)を30枚まとめて送って頂けるに限定する。

ニーズ情報



新居の建設予定地で作業する金沢勝敏さん

被災者から 仙仙地方の建築技術者を伝える陸前高田市(一気仙大工左官伝承館)「管理人 金沢勝敏さん(67)自宅が全壊し、夫婦と娘と孫の4人で伝承館に避難しました。小学校に入学したの孫大輝(6)は、夜眠れず不安定

な様子でしたが、今はようやく落ち着いてきました。伝承館のそばに土地があるため、新居を建てたい。家族で整備作業をしています。今後の生活の不安はありますが、再出発へ向けて頑張ります」(田川聡子)

南相馬市立石神第一小学校に避難中の同市の叶井富夫さん(54)津波にのまれる時、道路上で母

「奇跡的に助かった」と言う 叶井富夫さん

のままで夜になり凍えそうだったが、流されてきた乗用車に乗り込んで、寒さをしのぎながら救助を待った。奇跡が重なって生き延びられたんだと思う。避難所暮らしに慣れてしまっただけ、早く仮設住宅に入れたい。ね」(池田知広)

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

避難先近くの老人介護施設で、入所者の老人の体をさする藤原さん

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

韓国の子どもたちからメッセージ

韓国の子どもたちから寄せられたメッセージを、古里の福島県田村市に24日に届けました。幼稚園児や小中高生が書いた手紙や手作りのしおりなど、約2000枚です。

経験がある教育関係者の手紙が、美穂さんが集めた。

吉野ヨシ子さん(61) 千葉県習志野市、彫刻家

校教諭だった時に知り合った教科書会社の人から「被災地に届けたい」と託された。メッセージは大きな紙や便箋などさまざま。どれも応援しています。しおりは動物などをかいたり、色とりどりです。

私は現代彫刻を制作しており、市の観光PRをする夢大使を務めています。昨年、田村市で個展を開き、この夏も

開催したいと考えて、震災の後打ち合わせのため田村市を訪れました。家が壊れたり、第1原発事故の影響で、人々の心のケアが必要だという話を聞きました。

韓国からのメッセージのほか、私が作っている知育玩具も届けようと思っています。子どもたちは原発事故のため、外で遊ぶ時間が限られています。少しでも室内で楽しく遊んでもらえればと思います。今回のメッセージを通して、世界のみんなが応援していることを伝えたいです。田村市と韓国の子どもたちの交流が生まれるよう願っています。

な被害を受け、4月13日に再開した。

利用できない列車もあるが、交通費と宿泊費を合わせて通常より安い価格で提供する。問い合わせは、ひゅう予約センター(国内旅行商品専用ダイヤル)0120・489・791。

東北6県の旅を格安で提供。JR東日本仙台・盛岡・秋田の3支社と近畿日本ツーリスト、JTB旅行の各旅行会社は、JRで往復し、東北6県の温泉施設などに宿泊する旅行プラン「旅で元気」を発売中。7月15日まで。

青森県の浅虫温泉や福島県の大原温泉など、23施設を用意。一部、35施設を用意。

医療

矯正歯科診療費を補助。日本臨床矯正歯科医会は、被災地の住民に、矯正歯科治療を補助するための診療費を補助する。

対象は、被災地が半壊、半壊以上の被害を受けた、世帯主が死亡や重傷、行方不明、失業、廃業、休業している人、原発事故で政府の避難指示の対象となっている人。

患者1人につき10万円まで補助。期間は11年12月まで。問い合わせは、矯正歯科被災者支援フリーダイヤル0120・453・344。

学校

国際医療福祉大が特別入試。国際医療福祉大(栃木県大田原市)は、東日本大震災や福島第1原発事故の被災者を対象に、経済的進歩支援と被災者支援特別入試を実施する。

①震災で学費負担者が死亡、行方不明、3カ月以上の入院の家屋が半壊以上②原発事故の避難指

対象は、3月11日時点で被災地(青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉)に住み、両親あるいは父母のいずれかが震災で死亡もしくは行方不明となった小中高生(11年4月現在)とする。児童生徒開始時に一時金10万円を給付し、小中高

復興育英基金を創設。三菱東京UFJ銀行と公益社団法人日本ユニセフ協会連盟は「MUFJ・ユニセフ協会」東日本大震災復興育英基金」を創設。親を失った小中高生のための奨学金制度を始める。

対象は、3月11日時点で被災地(青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉)に住み、両親あるいは父母のいずれかが震災で死亡もしくは行方不明となった小中高生(11年4月現在)とする。児童生徒開始時に一時金10万円を給付し、小中高

仙台空港の定期便再開。全日空と日航、北海道国際航空(エア・ドゥ)、アイベックスエアラインズの4社は22日、東日本大震災で被災した仙台空港発着の定期便を、7月25日から再開すると発表した。空港施設がほぼ復旧したため、これまでの臨時便を定期運航に切り替える。

全日空は大阪(伊丹)、中部など3路線、日航は福岡など3路線、エア・ドゥは札幌、アイベックスは広島など7路線。国際線では、ユナイテッド航空が仙台(ケムン)の定期便(週2便)を、10月2日に再開する。仙台空港は、津波で滑走路が水没するなど大々

な被害を受け、4月13日に再開した。

奨学金

復興育英基金を創設。三菱東京UFJ銀行と公益社団法人日本ユニセフ協会連盟は「MUFJ・ユニセフ協会」東日本大震災復興育英基金」を創設。親を失った小中高生のための奨学金制度を始める。

対象は、3月11日時点で被災地(青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉)に住み、両親あるいは父母のいずれかが震災で死亡もしくは行方不明となった小中高生(11年4月現在)とする。児童生徒開始時に一時金10万円を給付し、小中高

復興育英基金を創設。三菱東京UFJ銀行と公益社団法人日本ユニセフ協会連盟は「MUFJ・ユニセフ協会」東日本大震災復興育英基金」を創設。親を失った小中高生のための奨学金制度を始める。

対象は、3月11日時点で被災地(青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉)に住み、両親あるいは父母のいずれかが震災で死亡もしくは行方不明となった小中高生(11年4月現在)とする。児童生徒開始時に一時金10万円を給付し、小中高

仙台空港の定期便再開。全日空と日航、北海道国際航空(エア・ドゥ)、アイベックスエアラインズの4社は22日、東日本大震災で被災した仙台空港発着の定期便を、7月25日から再開すると発表した。空港施設がほぼ復旧したため、これまでの臨時便を定期運航に切り替える。

全日空は大阪(伊丹)、中部など3路線、日航は福岡など3路線、エア・ドゥは札幌、アイベックスは広島など7路線。国際線では、ユナイテッド航空が仙台(ケムン)の定期便(週2便)を、10月2日に再開する。仙台空港は、津波で滑走路が水没するなど大々

な被害を受け、4月13日に再開した。

利用できない列車もあるが、交通費と宿泊費を合わせて通常より安い価格で提供する。問い合わせは、ひゅう予約センター(国内旅行商品専用ダイヤル)0120・489・791。

東北6県の旅を格安で提供。JR東日本仙台・盛岡・秋田の3支社と近畿日本ツーリスト、JTB旅行の各旅行会社は、JRで往復し、東北6県の温泉施設などに宿泊する旅行プラン「旅で元気」を発売中。7月15日まで。

青森県の浅虫温泉や福島県の大原温泉など、23施設を用意。一部、35施設を用意。

な被害を受け、4月13日に再開した。

交通

仙台空港の定期便再開。全日空と日航、北海道国際航空(エア・ドゥ)、アイベックスエアラインズの4社は22日、東日本大震災で被災した仙台空港発着の定期便を、7月25日から再開すると発表した。空港施設がほぼ復旧したため、これまでの臨時便を定期運航に切り替える。

全日空は大阪(伊丹)、中部など3路線、日航は福岡など3路線、エア・ドゥは札幌、アイベックスは広島など7路線。国際線では、ユナイテッド航空が仙台(ケムン)の定期便(週2便)を、10月2日に再開する。仙台空港は、津波で滑走路が水没するなど大々

な被害を受け、4月13日に再開した。

利用できない列車もあるが、交通費と宿泊費を合わせて通常より安い価格で提供する。問い合わせは、ひゅう予約センター(国内旅行商品専用ダイヤル)0120・489・791。

東北6県の旅を格安で提供。JR東日本仙台・盛岡・秋田の3支社と近畿日本ツーリスト、JTB旅行の各旅行会社は、JRで往復し、東北6県の温泉施設などに宿泊する旅行プラン「旅で元気」を発売中。7月15日まで。

青森県の浅虫温泉や福島県の大原温泉など、23施設を用意。一部、35施設を用意。

な被害を受け、4月13日に再開した。

利用できない列車もあるが、交通費と宿泊費を合わせて通常より安い価格で提供する。問い合わせは、ひゅう予約センター(国内旅行商品専用ダイヤル)0120・489・791。

東北6県の旅を格安で提供。JR東日本仙台・盛岡・秋田の3支社と近畿日本ツーリスト、JTB旅行の各旅行会社は、JRで往復し、東北6県の温泉施設などに宿泊する旅行プラン「旅で元気」を発売中。7月15日まで。

青森県の浅虫温泉や福島県の大原温泉など、23施設を用意。一部、35施設を用意。

な被害を受け、4月13日に再開した。

その他

仙台空港の定期便再開。全日空と日航、北海道国際航空(エア・ドゥ)、アイベックスエアラインズの4社は22日、東日本大震災で被災した仙台空港発着の定期便を、7月25日から再開すると発表した。空港施設がほぼ復旧したため、これまでの臨時便を定期運航に切り替える。

全日空は大阪(伊丹)、中部など3路線、日航は福岡など3路線、エア・ドゥは札幌、アイベックスは広島など7路線。国際線では、ユナイテッド航空が仙台(ケムン)の定期便(週2便)を、10月2日に再開する。仙台空港は、津波で滑走路が水没するなど大々

な被害を受け、4月13日に再開した。

利用できない列車もあるが、交通費と宿泊費を合わせて通常より安い価格で提供する。問い合わせは、ひゅう予約センター(国内旅行商品専用ダイヤル)0120・489・791。

東北6県の旅を格安で提供。JR東日本仙台・盛岡・秋田の3支社と近畿日本ツーリスト、JTB旅行の各旅行会社は、JRで往復し、東北6県の温泉施設などに宿泊する旅行プラン「旅で元気」を発売中。7月15日まで。

青森県の浅虫温泉や福島県の大原温泉など、23施設を用意。一部、35施設を用意。

な被害を受け、4月13日に再開した。

利用できない列車もあるが、交通費と宿泊費を合わせて通常より安い価格で提供する。問い合わせは、ひゅう予約センター(国内旅行商品専用ダイヤル)0120・489・791。

東北6県の旅を格安で提供。JR東日本仙台・盛岡・秋田の3支社と近畿日本ツーリスト、JTB旅行の各旅行会社は、JRで往復し、東北6県の温泉施設などに宿泊する旅行プラン「旅で元気」を発売中。7月15日まで。

青森県の浅虫温泉や福島県の大原温泉など、23施設を用意。一部、35施設を用意。

な被害を受け、4月13日に再開した。

三陸物語

全員の鍼灸師 藤原正さん

見えない津波の惨状を測りかねていた藤原正さん(63)がそれを体感したのは、はりとマッサーのボランティアのため。避難所の大雑居高校に通う道すがらだった。山際まで押し寄せた津波が汚泥。漁師が使うフイに足をぶつけた時は驚いた。ま

ちの姿が頭の中にあつた地図と全く変わったようになってしまつて。普通なら7分で着くはずの大雑居高校まで20分以上かかった。

避難所になった体育館のステーションに、授業で使うマットを敷き、初日は妻美幸さん(43)と2人で15人ほどマッサーした。足元がおぼつかない高齢者が多く、娘3人が手を引いた。暖房もなく、寒さに震えながら服の上から毛布を

5月いっぱいボランティアを続け、数百人の心と体に触れた。避難所と車で迎えにきた娘と孫の間に、2階から顔を覗かせる津波が、その眼前で津波が車をの

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

- 行方不明者・震災関連相談ダイヤル
岩手県警 0120-801-471
宮城県警 022-221-2000
福島県警 024-522-2151 (内線3024)
- 医療
文部科学省健康相談ホットライン・放射線関連 0120-755-199(9~18時)
放射線医学総合研究所相談窓口 043-290-4003(9~17時)
- 生活支援
日弁連電話相談0120-366-556(平日10~15時)
岩手弁護士会 0120-755-745(月~土曜13~16時)
仙台弁護士会0120-216-151(平日10~19時)
福島県弁護士会024-534-1211(平日14~16時)
- 金融・保険 ※平日のみ
預金口座照会センター(全国銀行協会) 0120-751-557※
災害地域生保契約照会センター(生保協会) 0120-001-731※
そんがいほけん相談室(日本損保協会) 0120-107-808※
携帯・PHSからは03-3255-1306※
- 移転した役所
<岩手県>
陸前高田市 高田町鳴石 0192-54-2111
釜石市 シーブラ釜石 0193-22-8253
大槌町 大槌小学校 0193-42-2111
<宮城県>
女川町 女川第二小学校 0225-54-3131
南三陸町 町総合体育館バイサイドアリーナ南側テニスコートの仮庁舎 0226-46-2600
- <福島県>
広野町 FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場 0246-43-1331
楡葉町 会津美里町本郷庁舎0242-56-2155
富岡町 郡山・ビッグパレット 0120-336-466
川内村 郡山・ビッグパレット 0120-38-2119
大熊町 会津若松市第2庁舎0242-26-3844
双葉町 旧埼玉東高西高0480-73-6880
浪江町 県男女共生センター(二本松市)コールセンター 03-5638-5055
飯館村 福島市飯野支所内024-562-4200
葛尾村 旧法務局会津坂下出張所 0242-83-0271
- ★一時立ち入り受付センター0120-208-066
警戒区域9市町村への一時立ち入りを申し込める。8~20時

と手をつないでいたけど、手が離れてしまし、母は亡くなってしまった。俺は偶然にも浮いてきた量につかまり、約3分、離れられなかった。その時、池田知広

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

「三陸物語」は、火と土曜日掲載します。

- 被災地へボランティアに行くには
- 各地の災害ボランティアセンター(VC)が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。
- <岩手県>
県VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。
●県VC ☎019-637-7594
サイトでは個人参加できるボランティアパスの運行状況や各VCの募集情報を公開中
●遠野市VC「遠野まごころネット」☎0198-62-1001
遠野市総合福祉センター発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館借泊。
●宮古市VC ☎090-4478-3984
個人、団体とも1週間前までに電話連絡を。
●陸前高田市VC ☎090-2852-9736
できるだけ2人以上で参加し、3日前までに連絡。
●大槌町社協VC ☎080-3518-8490
5人以上の団体が要事前登録。個人参加は県VCの盛岡発ボランティアバスを利用する。
<宮城県>
各VCが県外からの個人ボランティアも受け付けている。詳細は各VCのサイトで。
●仙台市VC ☎022-231-1326
5人以上での参加は先着
- 50人まで、要事前申し込み
●石巻市VC ☎0225-23-6015
10人以上の団体は要事前連絡
●気仙沼市VC ☎080-5949-7475
10人以上の団体は3日前までに事前連絡
●名取市VC ☎0222-784-3029
団体は要事前問い合わせは次の通り。
●多賀城市VC ☎080-5949-7501
●岩沼市VC ☎080-5949-7541
8人以上の団体は要事前申し込み
●東松島市VC ☎0225-82-9812
車中泊スペースあり。土のう袋をなるべく持参。5人以上のグループは早めに事前申し込みを。
●亶理町VC ☎080-5949-7719
団体は要事前申し込み
●山元町VC ☎080-5949-7720
要事前申し込み
●七ヶ浜町VC ☎090-6853-4490
団体は要事前申し込み
●南三陸町VC ☎080-2055-1066
県内外問わず団体も受け入れ中
<福島県>
●県VC ☎024-522-6540
●相馬市VC ☎0244-36-7827
●南相馬市VC ☎0244-24-1877
公式ホームページで活動内容や注意事項の確認を。
●新地町VC ☎0244-62-5577
要電話確認。毎週木曜は活動休止日。テント泊、車中泊は禁止。
●いわき市VC ☎0246-22-5501
団体は要事前申し込み